

平成25年度の新宿駅周辺防災対策協議会 活動を振り返る

罇沢工学研究所 罇沢 曜

平成25年度 新宿駅周辺防災対策協議会 第5回セミナー
2014年2月26日

平成25年度の主な協議会活動

資料 2

2013	5/22(水)総会
	6/26(水)第1回セミナー
	7/24(水)第2回セミナー
	9/4(水)第3回セミナー
	9/19(木)災害医療講習会(医療従事者対象)
	9月下旬 訓練概要説明会
	10/9(水)応急救護講習会
	10月下旬 訓練参加者説明会・図上演習(東口)
	11/6(水)～10(日)新宿防災ウィーク
	11/7(木)総合防災訓練
2014	1/16(木)第4回セミナー・訓練検証会
	2/26(水)第5回セミナー

2

平成25年度総会の概要

平成 25 年度 新宿駅周辺防災対策協議会 総会		
平成 25 年 5 月 22 日 (水) 新宿文化センター 小ホール		
プログラム		
開 場	12:30	
開 会	13:00	
開会挨拶	13:00	新宿区長 中山 弘子
13:10	(1) 平成 25 年度の協議会について	＜資料1～3＞ 新宿区長室危機管理課長 松田 浩一
13:30	(2) 都市再生安全確保計画について	＜資料4＞ 工学院大学建築学部 准教授 村上 正浩
13:40	(3) 平成 24 年度の協議会活動報告	＜資料5・資料6＞ 東口地域部会長(新宿大通商店街復興組合理事長) 安藤 佳幸 西口地域部会長(工学院大学建築学部 教授) 久田 嘉章
13:50	(4) 平成 25 年度のセミナー・講習会・訓練	＜資料7＞ 西口地域部会長(新宿区立大災害研究センター 教授) 罇沢 曜
休 息	14:00～14:10 (10 分)	
講 演	14:10	「中心市街地における効果的な災害対応と そのための仕組みづくり」 京都大学防災研究所大災害研究センター 教授 林 春男
休 息	15:10～15:15 (5 分)	
意見交換	15:15	
開会挨拶	16:00	新宿駅周辺防災対策協議会 座長 日本赤十字社東京支部 事業部長 教護課長 田中 真人
閉 会	16:10	



区長挨拶

総会



会場

基調講演



意見交換

座長挨拶

3

平成25年度総会の概要

(1)平成25年度の協議会について

- 議題1 平成25年度新宿駅周辺防災対策協議会座長として田中氏を選任。
- 議題2 副座長は東西の地域部会長を選任。
- 議題3 平成25年度新宿駅周辺防災対策協議会構成団体名簿の承認。
- 議題4 「第29回全国トイレシンポジウム」の共催についての承認。
- 議題5 「新宿駅周辺防災対策協議会」の東京防災隣組(東京都)認定報告。

(2)都市再生安全確保計画について

都市再生安全確保計画制度の概要説明。西口地域は平成24年度に基礎調査を実施、東口は平成25年度より、新宿モデルを課題とした計画作り。

(3)平成24年度の協議会活動報告

- ・東口地域:どのように本部を立ちあげ、どのような情報を共有するのかを訓練で実践。東口現地本部から応急救護所へのビニールシートによる傷病者搬送も実施。
- ・西口地域:傷病者対応訓練、建物被害対応訓練、医療救護訓練、情報共有訓練を実施。高層ビル内等での自助の対策をしっかりと行い、共助へとつなげる訓練。

(4)平成25年度のセミナー・講習会・訓練

自助から共助までの災害対応力を高めるために協議会で計画しているセミナー・講習会等の概要、スケジュールを説明。

平成25年度 新宿駅周辺防災対策協議会 第5回セミナー
2014年2月26日

4

平成25年度総会の概要

基調講演 京都大学防災研究所 林 春男 教授

「**中心市街地における効果的な災害対応とそのための仕組みづくり**」

テーマ：個々の組織が事業継続能力(レジリエンス)を保ち、地域全体で協力した災害に負けない社会づくり。

地域で協力し合う為の3つのポイント：

- 組織内指揮調整(一つの組織の中での指揮調整)
- 活動情報処理(災害時の情報処理が活動の質を決める)
- 組織間協力連携(お互いに連携しなくてはならない)

平成25年度 新宿駅周辺防災対策協議会 第5回セミナー
2014年2月26日

5

第1回セミナーの概要

- ・題目：災害対応を効果的に実践するための戦術・トレーニング
 - ・目的：ICSを活用した組織づくりの有効性と自衛消防組織への適用について学ぶ。
 - ・日時：2013年6月26日(水)13:30～15:30
 - ・会場：工学院大学新宿キャンパス
 - ・出席者：53名
 - ・講師：在日米陸軍消防本部次長 熊丸 由布治 氏
- ICS(インシデント・コマンド・システム)を活用した組織づくりの有効性と自衛消防組織への適用について、在日米陸軍消防本部に在籍する災害対応の専門家による講演を行った。



平成25年度 新宿駅周辺防災対策協議会 第5回セミナー
2014年2月26日

6

第1回セミナーアンケート調査結果概要

今後の消防計画や自衛消防隊の組織づくり・管理に役立つ情報

- ・ 事前計画、意志系統明確、現場の権限を与える事の大切さ
- ・ チームビルディングの構成方法
- ・ ICSの組織活用
- ・ 情報の重要性・記録の重要性・現場と本部の連携。
- ・ 米国において、様々なことが規格・標準化され、それを一般人もライセンスを取得できるようになっているということ。
- ・ アメリカ式のやり方、日本の良さをふまえた形での災害対応
- ・ チームビルディング
- ・ ICSの考え方の中で非現場の任務として、発生した問題を解決していく任務の重要性が確認出来た。正確な情報、それに基づく早い意志決定、プラス安全の確認。
- ・ 標準化されたルールの必要性を強く感じた。
- ・ 計画策定
- ・ ICS各種様式を参考に当ビルに合った様式を作成してみたい。
- ・ 拡張性、書面
- ・ 標準化について災害対応の考え方。
- ・ 全ての災害に対応出来る組織作りと標準化。

7

第1回セミナーアンケート調査結果概要

本セミナーに参加して、今後取り組まなければならない、或いは取り組みたいと思われる事項(複数回答可)

既存の災害対応マニュアルの検証・改善	18 (47%)
災害対応訓練の内容の見直し	15 (39%)
標準化された教育・訓練プログラムの導入	13 (34%)
ICS(インシデント・コマンド・システム)の導入	11 (29%)
地域内(異なる組織間)における災害対応の連携	10 (26%)
自衛消防隊の組織編成の検証・改善	9 (24%)
事業継続計画(BCP)・事業継続マネジメント(BCM)の検証・改善	9 (24%)
事前計画(LERP)の作成	4 (11%)
各種報告様式の見直し・整備	4 (11%)
その他	0

平成25年度 新宿駅周辺防災対策協議会 第5回セミナー
2014年2月26日

8

第2回セミナーの概要

- ・題目：消防法の改正と自衛消防隊の組織づくり
 - ・目的：改正消防法の内容および自衛消防隊の組織づくりに関する具体例を学ぶ。
 - ・日時：2013年7月24日(水)13:30～15:30
 - ・会場：新宿区角筈地域センター
 - ・出席者：62名
 - ・講師：新宿消防署長 松村保雄 氏、新宿消防署予防課長 平本隆司 氏
- 高層ビル等の防火・防災管理体制の強化を目的とする改正消防法(2014年4月1日施行)の内容と自衛消防隊の組織づくり、および防災センターを核とする自衛消防隊による建物の実践的な防火・防災の対策例について解説を行った。



平成25年度 新宿駅周辺防災対策協議会 第5回セミナー
2014年2月26日



9

第2回セミナーアンケート調査結果概要

本セミナーに参加して、今後取り組まなければならない、或いは取組みたいと思われる事項(複数回答可)

事業所自衛消防隊の災害対応能力の向上	21 (51%)
防災センターの災害対応能力の向上	20 (49%)
事業継続計画(BCP)・事業継続マネジメント(BCM)の検証・改善	14 (34%)
災害対応訓練の内容の見直し	12 (29%)
既存の災害対応マニュアルの検証・改善	11 (27%)
ビルの防火・防災管理および責任体制の検討・整備	10 (24%)
事業所と防災センターの災害対応連携の強化	10 (24%)
地域内(異なる組織間)における災害対応の連携	9 (22%)
その他	0

平成25年度 新宿駅周辺防災対策協議会 第5回セミナー
2014年2月26日

10

第2回セミナーアンケート調査結果概要

事業所等における自衛消防隊の組織編成例

	統括者	班編成					
1	防火・防災管理者	情報連絡班	初期消火班	避難誘導班	安全防護班	応急救護班	
2	防災管理者		初期消火班	避難誘導班		応急救護班	
3	防火管理者	情報連絡班	初期消火班	避難誘導班			
4	統括		初期消火班	避難誘導班	安全防護班		
5		通報連絡班	初期消火班	避難誘導班	安全防護班	応急救護班	
6	当務者(統括管理)	情報連絡班	消火班	避難誘導班	安全防護班	応急救護班	
7	統括防火管理者	情報連絡班	初期消火班	避難誘導班			
8	防火対象物自衛消防隊長	情報連絡班	初期消火班	避難誘導班	安全防護班	応急救護班	
9	統括防火管理者	情報連絡班	初期消火班	避難誘導班	安全防護班	応急救護班	指揮班
10	防火防災管理者	情報連絡班	初期消火班	避難誘導班	安全防護班	応急救護班	
11		連絡班	消火班			応急救護班	指揮班 工作班 警護班
12	各階地区隊長	情報連絡班	消火班	避難誘導班	安全防護班		
13	統括防火管理者	情報連絡班	初期消火班	避難誘導班	安全防護班	応急救護班	
14	統括管理者	情報班	初期消火班	避難誘導班	安全防護班	応急救護班	
15	統括防災管理者	情報連絡班	初期消火班	避難誘導班	安全防護班	応急救護班	
16	統括防火管理者	連絡班	消火班	避難誘導班		救護班	
17	統括防火(災)管理者	通報連絡班	初期消火班	避難誘導班		救護班	非常持出班
18	統括	情報連絡班	初期消火班	避難誘導班	安全防護班	応急救護班	
19	自衛消防隊長	連絡通報班	消火班	避難誘導班	安全防護班	救護班	本部隊 非常持出班
20	自衛消防地区隊長	連絡通報班	消火班	避難誘導班		応急救護班	非常持出班 シャッター降下班

※網掛け部分は建物の安全確認を担う可能性があると思われる班を示す。

11

第3回セミナーの概要

- ・題目：地震後の建物被害確認と即時使用性判定
- ・目的：地震後の建物被害確認と即時使用性判定を行い、効果的な建物被害対応の仕組みについて考える。
- ・日時：2013年9月4日(水)13:30～15:30
- ・会場：工学院大学新宿キャンパス
- ・出席者：52名(演習参加者29名)

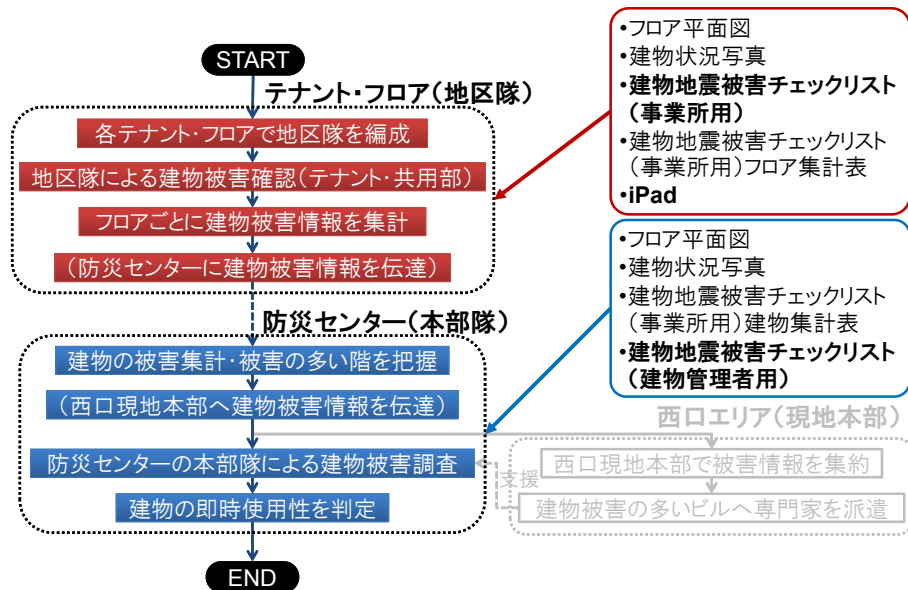
複数のテナントが入居する高層オフィスビルを例に、各テナントの自衛消防組織による建物被害確認とビル内での情報集約、さらに建物管理者(防災センター)による被害確認と即時使用性の判定を図上演習により行った。



平成25年度 新宿駅周辺防災対策協議会 第5回セミナー
2014年2月26日

12

第3回セミナー図上演習における建物被害対応の流れ



13

第3回セミナーアンケート調査結果概要

大規模地震時の被害確認・即時使用性判定等について認識を新たにしたこと

- ・ 建物の被害確認の難しさ。(同種意見4名)
- ・ 更にわかりやすく、客観的な判定ができるようになってほしい。
- ・ iPadの有効性。(同種意見2名)
- ・ 当社ビルでも、素人でもわかるチェックリストの精査が必要。
- ・ 各地区隊での確認作業の具体的な量・質を実感できた。即時性判定までの集計が大変。
- ・ 図面を活用した被害状況把握の必要性。(同種意見2名)
- ・ 建物全体だけではなく、部分的な部屋が使用できるか否か。
- ・ 建物管理側として、各階平面図やテナント状況のチェックリストを常備しておく必要性。
- ・ ケガキ、被災度モニタリングの情報があれば、建物の安全はある程度理解出来るのでは？
- ・ 重要性は十分に理解できたが、専門的な知識が無くても判定できるのか。
- ・ 普段からの訓練の必要性。(同種意見2名)
- ・ 判断基準表があると迅速に結論を出せるのではないかな。
- ・ 時間をかけずに判定を出さなければならない。写真の編集をどう処理するかが課題。
- ・ これまで地区隊の口頭報告だけであったが、デジカメによる現場状況把握が必要。
- ・ 構造材と内装材の見分け方。
- ・ 被害程度による安全性の判断がわからない。
- ・ 社内の誰が最終的に判断をするのか決めなければならない。

14

災害医療講習会の概要

- ・ 題目: 災害医療講習会
 - ・ 目的: (講演)災害医療について学ぶ。(トリアージ研修会)一次トリアージ(START式)ができる、二次トリアージを体験する。
 - ・ 日時: 2013年9月19日(木)19:15~21:00
 - ・ 会場: 新宿区教育センター
 - ・ 出席者: 59名
 - ・ 共催: 新宿区医師会
- 地域の医療従事者を対象に、救急医療専門医による災害医療に関する講演および救急医療専門医と看護師によるトリアージ研修会を行った。



平成25年度 新宿駅周辺防災対策協議会 第5回セミナー
2014年2月26日



15

応急救護講習会の概要

- ・ 題目: 応急救護講習会
- ・ 目的: 事業所での地震災害時の応急救護を座学と実践で学ぶ。
- ・ 日時: 2013年10月9日(水)9:30~17:30
- ・ 会場: 工学院大学新宿キャンパス
- ・ 出席者: 38名
- ・ 協力: 日本赤十字社東京都支部, 東京消防庁新宿消防署

大規模災害時における応急救護の原則、傷病者への接し方、応急手当、観察記録および搬送の方法など、災害時の応急救護に必要な知識と技能の習得および実践的なトレーニングを目的とし、座学、実技および演習による講習を行った。

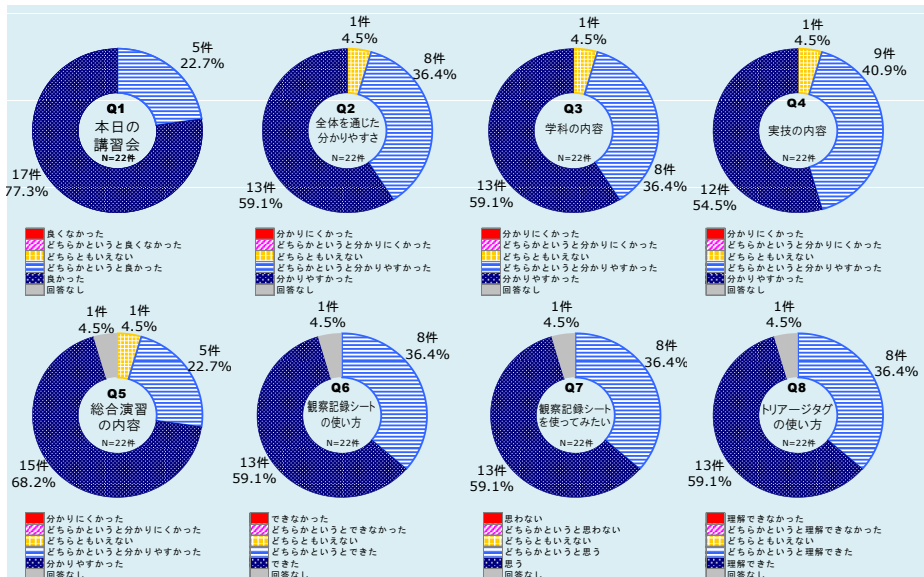


平成25年度 新宿駅周辺防災対策協議会 第5回セミナー
2014年2月26日



16

応急救護講習会アンケート調査結果概要



17

応急救護講習会アンケート調査結果概要

講習会で得られた災害対応能力の向上につながる知識や経験

- 基本的な考え方を深く学ぶことが出来た。災害医療と救急医療の違いによる私たちの役割を多くの仲間に伝えていきたい。
- 上級救命講習で一通りの災害時の救助方法を学んでいたが、今回はそれを応用した総合演習等もあり、実際の現場を想定した訓練が出来て良かった。
- ケガ人の対応の順番が理解できた。
- うまくいかなかったことを含め今後の応急手当の向上に役立てる参考にしていきたい。
- 初めて実技演習を体験できた。
- 実技を行うことでより災害に対する知識がふかまった。

18

新宿防災ウィーク2013の概要

新宿防災ウィーク 2013

●11月6日(水)

〇新宿駅周辺防災対策協議会 第5回協議会
 日時:11月6日(水) 14:00~17:30
 会場:新宿駅周辺防災対策協議会 第5回協議会
 定員:100名(先着順)
 主催:東京消防庁、新宿区、新宿駅周辺防災対策協議会

〇新宿駅周辺防災対策協議会 第5回協議会
 日時:11月6日(水) 14:00~17:30
 会場:新宿駅周辺防災対策協議会 第5回協議会
 定員:100名(先着順)
 主催:東京消防庁、新宿区、新宿駅周辺防災対策協議会

●11月7日(木)

〇新宿駅周辺防災対策協議会 第5回協議会
 日時:11月7日(木) 13:00~17:30
 会場:新宿駅周辺防災対策協議会 第5回協議会
 定員:100名(先着順)
 主催:東京消防庁、新宿区、新宿駅周辺防災対策協議会

〇新宿駅周辺防災対策協議会 第5回協議会
 日時:11月7日(木) 13:00~17:30
 会場:新宿駅周辺防災対策協議会 第5回協議会
 定員:100名(先着順)
 主催:東京消防庁、新宿区、新宿駅周辺防災対策協議会

●11月8日(金)

〇新宿駅周辺防災対策協議会 第5回協議会
 日時:11月8日(金) 13:00~17:30
 会場:新宿駅周辺防災対策協議会 第5回協議会
 定員:100名(先着順)
 主催:東京消防庁、新宿区、新宿駅周辺防災対策協議会

〇新宿駅周辺防災対策協議会 第5回協議会
 日時:11月8日(金) 13:00~17:30
 会場:新宿駅周辺防災対策協議会 第5回協議会
 定員:100名(先着順)
 主催:東京消防庁、新宿区、新宿駅周辺防災対策協議会

●11月9日(土)

〇新宿駅周辺防災対策協議会 第5回協議会
 日時:11月9日(土) 10:00~11:00、11:30~12:00の2回
 会場:新宿駅周辺防災対策協議会 第5回協議会
 定員:100名(先着順)
 主催:東京消防庁、新宿区、新宿駅周辺防災対策協議会

〇新宿駅周辺防災対策協議会 第5回協議会
 日時:11月9日(土) 10:00~11:00、11:30~12:00の2回
 会場:新宿駅周辺防災対策協議会 第5回協議会
 定員:100名(先着順)
 主催:東京消防庁、新宿区、新宿駅周辺防災対策協議会

●11月10日(日)

〇新宿駅周辺防災対策協議会 第5回協議会
 日時:11月10日(日) 10:00~17:30
 会場:新宿駅周辺防災対策協議会 第5回協議会
 定員:100名(先着順)
 主催:東京消防庁、新宿区、新宿駅周辺防災対策協議会

〇新宿駅周辺防災対策協議会 第5回協議会
 日時:11月10日(日) 10:00~17:30
 会場:新宿駅周辺防災対策協議会 第5回協議会
 定員:100名(先着順)
 主催:東京消防庁、新宿区、新宿駅周辺防災対策協議会



東京ガス防災供給センター施設見学(11/8)



地震教室(11/9)



女性のための防災教室(11/9)



第29回全国トイレシンポジウム(11/10)

19

第4回セミナーの概要

- 題目:平成25年度協議会訓練を振り返る
- 目的:平成25年度の訓練実施内容を振り返り、その成果と課題を検証する。
- 日時:2014年1月16日(木)13:30~16:30
- 会場:工学院大学新宿キャンパス
- 出席者:55名

平成25年11月7日に実施した新宿駅周辺防災対策協議会訓練における主に西口地域地震防災訓練の実施内容を振り返り、訓練関係者や参加・見学者等による意見交換を行った。



平成25年度 新宿駅周辺防災対策協議会 第5回セミナー
2014年2月26日



20

第4回セミナーアンケート調査結果概要

平成25年度西口地域訓練の内容を振り返り、良かった点

- ・ 実践型の訓練でレベルの高さ。
- ・ 実際に実施し色々な疑問点が分かったこと。
- ・ 応急救護班員が、外観上ではあるが、重病人を優先に救護に当たった点は良かった。
- ・ 落ちついて行動していた。
- ・ 各訓練がオープンで見学フリーな状態はよかった。
- ・ 医療従事者と非医療従事者が合同で訓練する機会。
- ・ 目的は非常に共感でき、訓練後に振り返りや評価を行う事は良い。
- ・ 負傷者多数発生時対応の基本的事項が理解できた。
- ・ 初めて会った人と協力して訓練できた点(コミュニケーション)。防災に対して意識の高い人と意見交換ができた点。
- ・ 応急救護の統制がとれていたと思う。
- ・ 役割分担同士の連携も良く取れていたと思う。
- ・ 現状で何が出来ていないかが分かった。
- ・ 当ビルでの態勢がどうあるべきか、防火・防災対応出来る社員が具体的に何を担当すべきか、イメージだけは持つことが出来た。
- ・ 被災時を想定して訓練を繰り返し実施し、課題解決していくことは重要。
- ・ 実動訓練が良い。身体で体験することは非常時に生かされる。

21

第4回セミナーアンケート調査結果概要

平成25年度西口地域訓練の内容を振り返り、改善すべき点

- ・ 多くの人の関心を高める防災訓練を数多くすべき。
- ・ 集計表の見直し。
- ・ 応急救護班の資料には、当初から担架等を準備すべき。
- ・ 情報量オーバーの状況が見えない。
- ・ 各訓練の事前セミナーを受けていなかったため、理解できなかった部分があった。
- ・ 情報伝達の方法やシステムの見直し。情報公開の方法。西口と東口の連携。
- ・ 災害時に医師が来れないケースの対応について検討が必要。
- ・ 東口のように傷病者用のキットを使うとより臨場感がでる。
- ・ 訓練時間を持て余していたが救護者への搬送後の観察の継続等をしていなかった。
- ・ 意図した方法と違う解釈をしてしまったケースがあった。(書類の書き方など)
- ・ 訓練のストーリーが予め分かっているため救護所が開設される前に傷病者を救護所に運んでしまった。傷病者観察記録シートを3段にすれば白板記入の手間が省ける。
- ・ 訓練でも、身の回りの「付箋」などを活用することも良い。記載する欄が小さすぎるので、なるべく枠を大きくするなり「工夫」が必要。
- ・ 各要員の役割分担の明確化。
- ・ 現地対策本部において、訓練参加者が異動しても申し送りができる組織化。

22

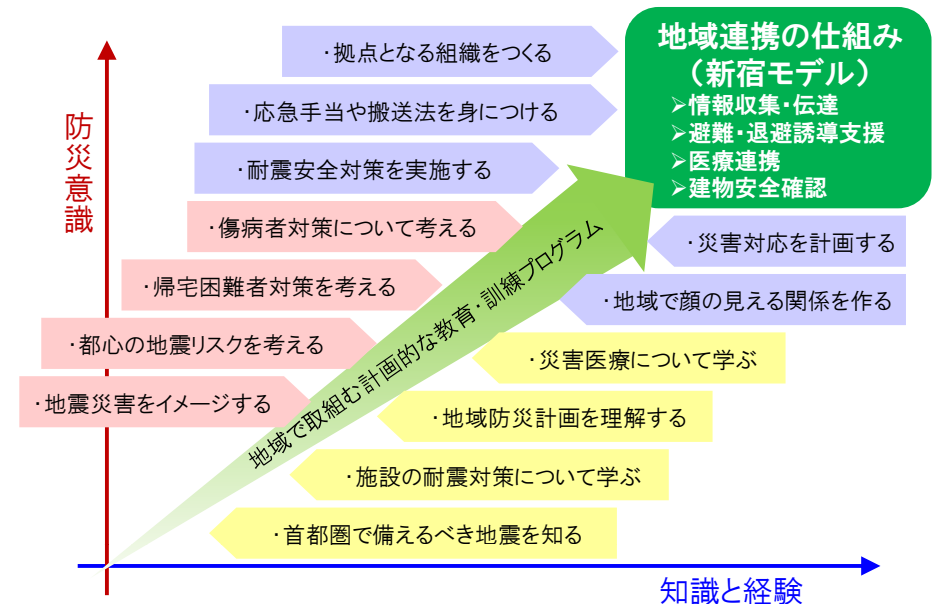
第4回セミナーアンケート調査結果概要

次年度の訓練に望むこと

- ・ 傷病者対応訓練、防災防火訓練(リーダーの養成)、帰宅困難者支援。
- ・ 訓練の中に警察署の役割が必要なのでは
- ・ 実戦に対応できる訓練 火災対応、防火扉解放要領(変形)
- ・ 項目的には今回同様の四つの内容。帰宅困難者の受入訓練もできれば。
- ・ 年齢、性別、体格などある程度の基準を作り、動きを決めてしまったらどうか。
- ・ 傷病者の数に対応した訓練。死者や救命不可の者に対する処置の訓練。帰宅困難者対応の訓練。情報を公開する訓練。
- ・ PCIに頼らない情報の収集と発信。帰宅困難者を「被災者」から「プレイヤー」に変える取り組み。
- ・ 全ての訓練に参加できるような訓練。絶対に失敗する訓練もおもしろい。
- ・ 多数傷病者の発生とその救護に特化した訓練だけでもくり返して実施。
- ・ 毎年の繰り返し。各ビルの対応能力向上と共に3者(現地本部、事業者、区役所)の情報交換の体制強化を進めていける訓練が大切。
- ・ もっと大勢の人が参加しての応急救護訓練。
- ・ 西口地区内ならではの、高層ビルを活用した訓練。
- ・ 現在の基本訓練を定着化させ、それを改善していくのが望ましい。

23

地域連携の仕組みづくりに向けて



24